（別紙４（２））

事業所名　グループホームサンヴェール大垣

作成日：　平成　21年　9　月　29日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画は目標が評価可能なように作成され、更に、その目標が、施設サービス計画書、週間サービスチェック表に、利用者のサービスを担当する職員が、どのようにサービスを提供したら良いのかがわかるように、具体化したい。	介護計画の目標に対しての評価が分かりやすいいように、計画表の改善を行う。それにより、全職員がサービスの内容を把握しやすい環境を作る。	施設の看護長、介護長と相談中である。 研修で得た知識もより集め、より良い計画表の作成に向けて取り組んでいる。	3～6ヶ月
2	1	法人の理念の他に、地域密着型サービスの意義をふまえた独自の理念を作り、ホームの活動を説明する資料にも掲載して、利用者や関係者にも明確にする。	グループホーム独自の理念を作り、 ご利用者やご家族にも理念の周知を図る。	現在理念について、職員間で話し合い中である。	3ヶ月
3	2	町内会、自治会への参加を含めて、ホームが地域で果たせる役割はどのようなものがあるか検討する。	ご利用者の状態に合わせご家族や地域との話し合いを通じて、自然に無理なく参加ができ、役割を果たせるものを見つけていく。	運営推進会議等で、地域包括支援センターや、自治会長の方に協力を得て、地域特性などを踏まえた上で、果たせる役割を見つけていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。